

## 小柴貯油施設の跡地利用に関する意見募集の結果がまとまりました！

平成17年12月14日に返還された小柴貯油施設の跡地利用の基本的な考え方について、平成20年5月2日から6月13日までの間、市民の皆様からのご意見を募集し、このたび、その集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

今後、いただいたご意見を参考にしながら、公園の実施計画の検討を進め、跡地利用の具体化を図ってまいります。

### 1 意見募集結果概要

#### 1 回答数

240通

#### 2 回答者の属性

- 全体の約80%が跡地の所在地である金沢区にお住まいの方からの回答となっています。
- 男性が58.8%、女性が35.0%となっています。

#### 3 アンケート結果

- 低地部に設定した「広場ゾーン」を芝生広場などの多目的な空間とすることについて、「良い」、「どちらかと言えば良い」と回答された方が70%を占めました。
- 既存の緑を中心とした「緑の保全・再生空間」の一部を散策も可能な空間とすることについて、「良い」と回答された方が65.4%を占めました。
- 地下タンクが存在する区域に設定した「地球環境ゾーン」への導入機能については、「自然の保全・水辺や緑の創出」に関するご意見が最も多く寄せられました。主なご意見は次のとおりです。
  - ・自然の保全や自然を活かした機能の導入
  - ・環境の学習や体験の場
  - ・自然エネルギーを活用した発電設備
  - ・農業をテーマにした機能の導入 など
- 自由意見欄においても、「自然の保全・水辺や緑の創出」に関するご意見が最も多く寄せられました。主なご意見は次のとおりです。
  - ・自然の保全・水辺や緑の創出（現在の自然を保全して欲しい等）
  - ・防災機能（タンクの活用、災害時に活用できる広場の整備）
  - ・ドッグランの設置 など

### 2 調査方法

#### 1 募集期間

平成20年5月2日（金）から6月13日（金）まで43日間

#### 2 意見の募集方法

- 下記で配布のリーフレット付属の葉書による募集  
市民情報センター、各区役所広報相談係、金沢区内のPRボックス（地区センター、コミュニティハウス、主要駅等）
- 都市経営局基地対策部のホームページ

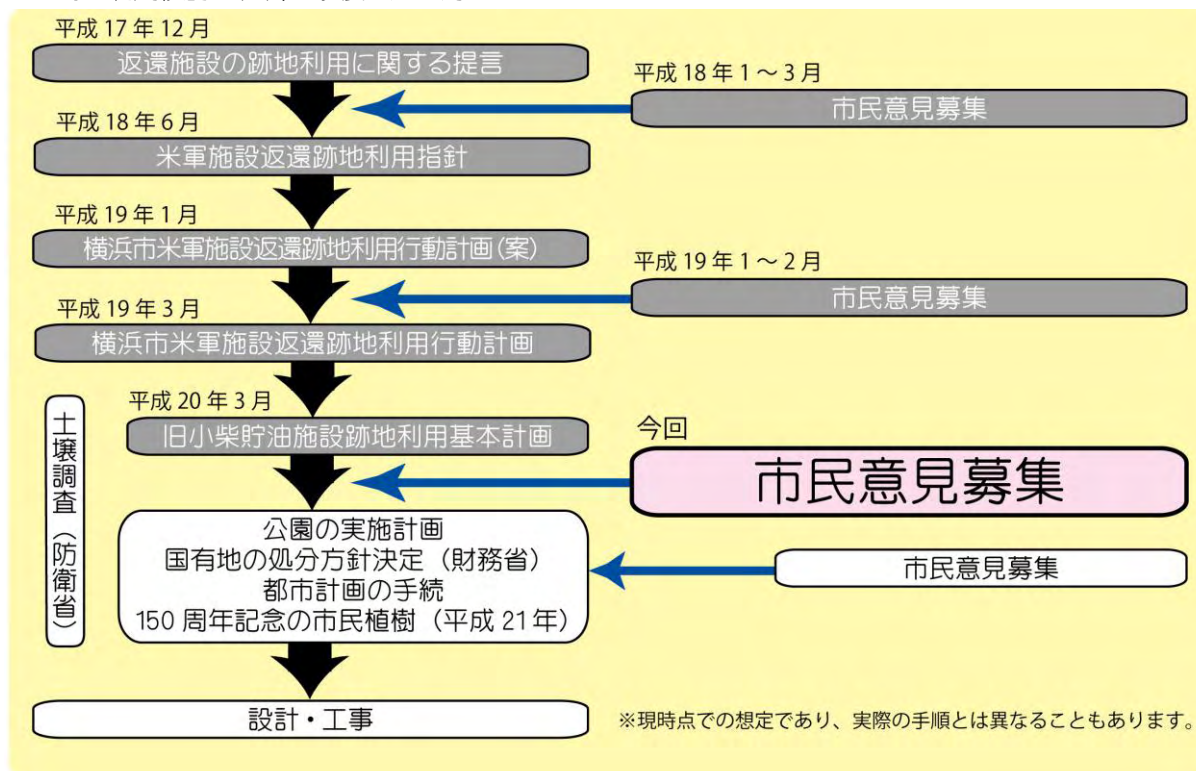
### ■旧小柴貯油施設の概要

- 接收年月日 昭和23年10月3日  
 返還年月日 平成17年12月14日  
 所在地 金沢区柴町、長浜、幸浦二丁目、並木三丁目  
 面積 52.6ha (国有地97%、民有地2%、市有地1%)  
 経過 昭和23.10.3 旧日本海軍の施設を米軍が接收  
       昭和56.10.13 6号タンクが爆発し、火災が発生  
       平成16.10.18 日米合同委員会で、一部(約10ha)  
                     返還の方針が合意された  
       平成17.10.18 日米合同委員会で、小柴貯油施設の陸地部分全域及び制限水域の一部に係  
                     る返還予告等が合意された  
       平成17.12.14 陸地部分全域と制限水域の一部が返還された



旧小柴貯油施設

### ■ 跡地利用検討の経緯と今後の進め方



### ■ 米軍施設返還跡地利用指針(平成18年6月)

- ①緑のオープンスペース、市民レクリエーション空間
- ②魅力的な景観の保全
- ③広域機能の立地

### ■ 横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画(平成19年3月)

- 市が都市公園として整備します。
- 「開港150周年の森」として記念植樹等市民参加の森づくりを進めます。
- 首都圏の環境再生の拠点としての整備のあり方を検討していきます。

# 小柴貯油施設跡地利用基本計画に関する市民意見募集結果

## 1 目的

平成 17 年 12 月に返還された小柴貯油施設の跡地利用については、平成 19 年 3 月に策定した「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」において、都市公園（開港 150 周年の森）として整備を目指すことを掲げています。

平成 19 年度は、現地の動植物類の生息状況等の基礎的な調査を進め、平成 20 年 3 月には跡地利用の基本的な方向性をまとめた「小柴貯油施設跡地利用基本計画」を策定しました。

今後、具体的な公園計画の検討を進めていくに当たって、基本計画に対する意見募集を実施したものです。

## 2 募集方法等

### (1) 募集期間

平成 20 年 5 月 2 日（金）から 6 月 13 日（金）まで 43 日間

### (2) 募集方法

意見募集の実施については、広報よこはま 5 月号でお知らせし、以下の方法で募集を行いました。

#### ア リーフレット付属の葉書による募集

リーフレットについては、市庁舎 1 階市民情報センター、18 区役所広報相談係及び金沢区内 PR ボックス（地区センター、銀行、鉄道駅など）において配布するとともに、金沢区においては町内会で回覧して頂きました。民有地の地権者の方々には、別途配布しました。

#### イ 基地対策部ホームページにおける募集

基地対策部のホームページに市民意見募集のページを設け、インターネット上から回答を受け付けました。

## 3 募集結果

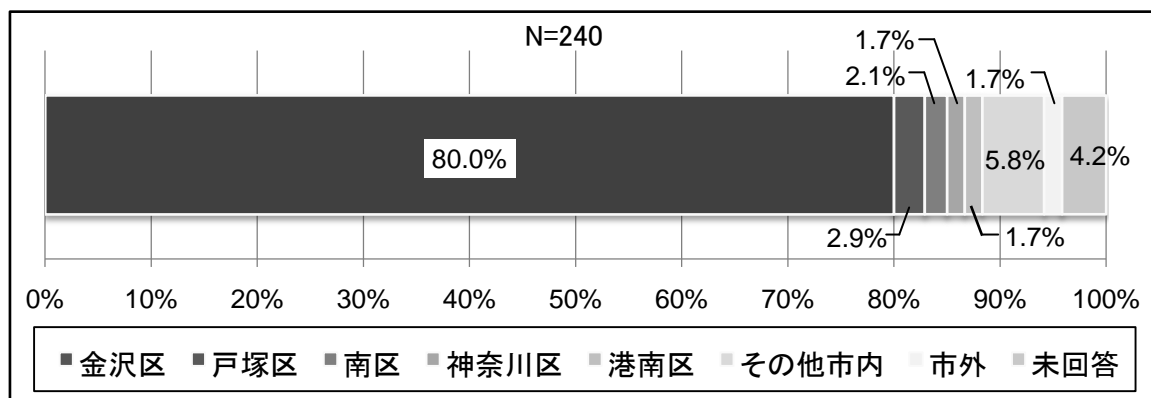
### (1) 回答数

240 通（葉書 183 通、ホームページ 40 通、その他（手紙等による要望）17 通）

### (2) 回答者属性

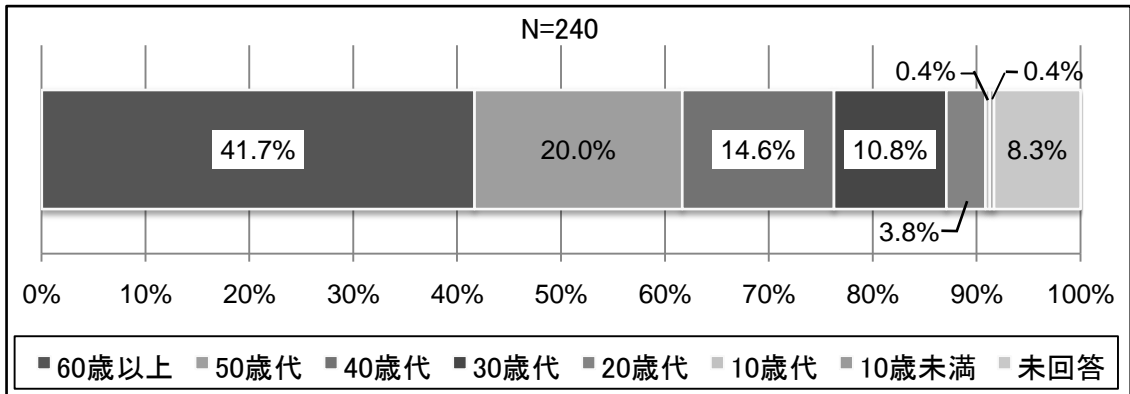
#### ア 居住地

80%（192 通）が旧小柴貯油施設の所在地である金沢区にお住まいの方からの回答となっています。



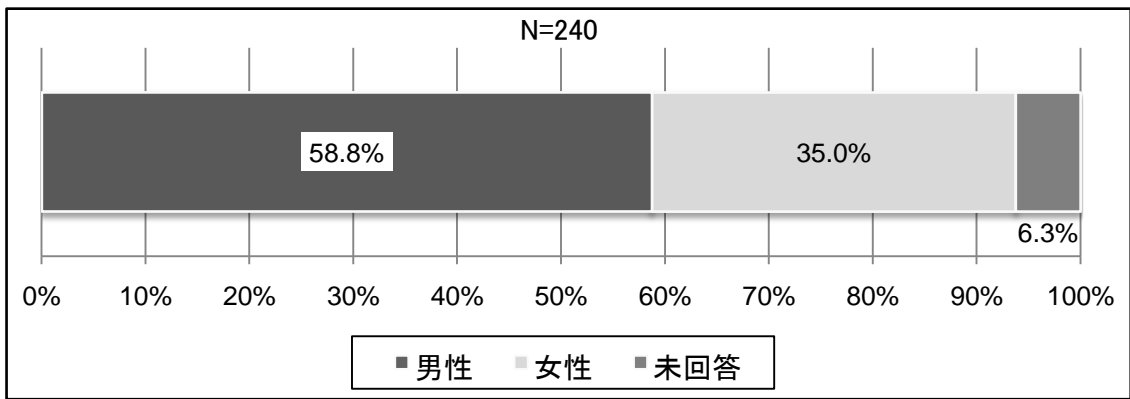
## イ 年齢

60歳以上の方の割合が最も多くなっています。



## ウ 性別

男性が 58.8%、女性が 35.0%となっています。

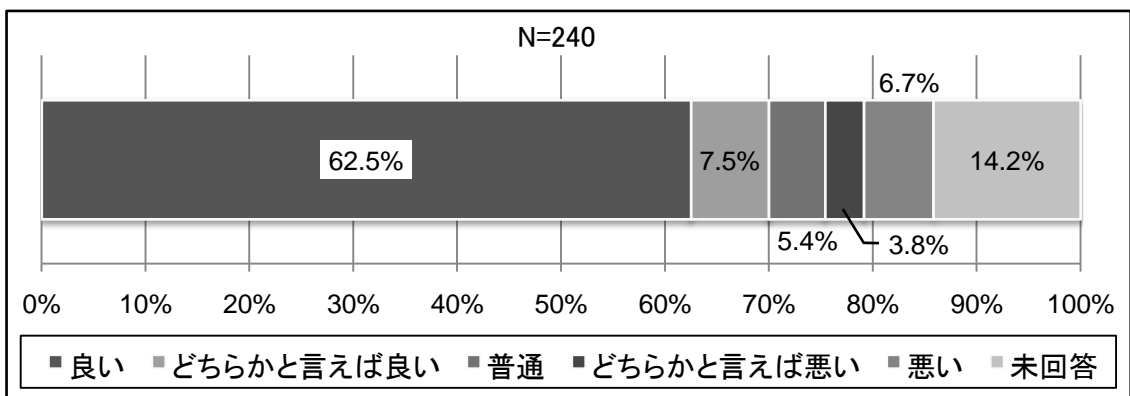


## (3) アンケート結果

### 問1 跡地利用の考え方について（該当するものに○）

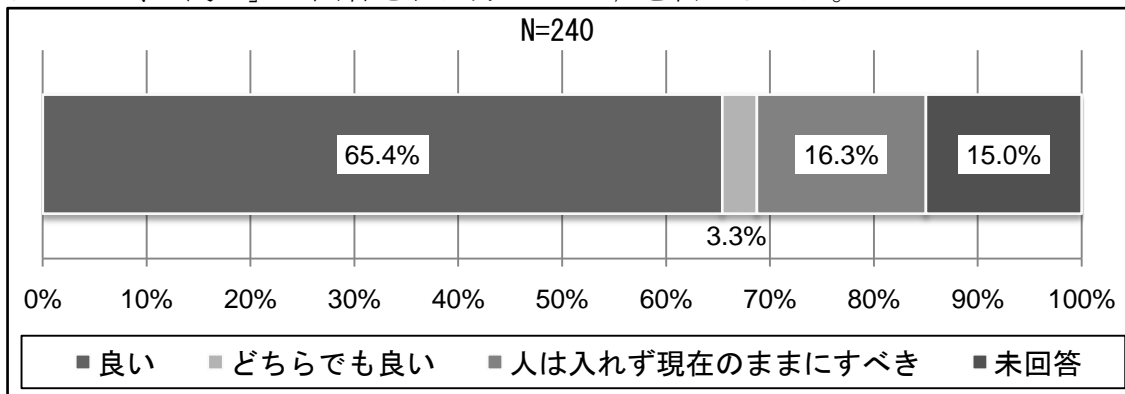
#### ①広場ゾーンは、芝生広場など多目的な空間として整備することを基本とします。

広場ゾーンを、芝生広場など多目的な空間とすることについて、「良い」、「どちらかと言えば良い」と回答された方が全体の70%を占めました。



②「緑の保全・再生空間」の一部では、保全すべき植物等が生育する部分を除いて、人々が散策できるようにします。

既存の緑を中心とした「緑の保全・再生空間」を散策も可能な空間とすることについて、「良い」と回答された方が65.4%を占めました。



問2 地球環境ゾーンでは「人々が環境に配慮した行動を起こすきっかけ」となるような機能の導入を検討していきますが、ゾーンの活用についてご提案がありましたらお書き下さい。

「自然の保全・水辺や緑の創出」、「環境の学習や体験の場」や「太陽光など自然エネルギー発電」などのご意見を多くいただきました。また、貯油タンクについては、備蓄庫としての活用や、基地であったことを伝えるため一部を保存するなどのご意見をいただきました。

○回答総数（複数回答含む）

207件

○主なご意見

ー環境をテーマにした機能の導入に関するものー

【自然の保全・水辺や緑の創出に関するもの（57件）】

- ・現在の自然を保全した空間とする
- ・花や木を植え、さらに緑豊かな空間とする など

【環境の学習や体験の場に関するもの（38件）】

- ・自然観察や生態系など自然を学ぶ場
- ・環境に関する展示の場（地球環境の変遷、リサイクルの成果、環境に配慮した行動の効果 等）
- ・環境に関する体験の場（リサイクルの体験、自給自足の生活体験、環境にやさしい行動の体験 等） など

【エコエネルギーに関するもの（16件）】

- ・太陽光や風力などの自然エネルギーを活用した発電設備 など

【農業をテーマにした機能に関するもの（10件）】

- ・農地 ・市民菜園 ・地場農産品の市場 など

ーその他の活用に関するものー

【ドッグランの設置に関するもの（10件）】

【防災機能の確保に関するもの（9件）】

- ・タンクを防災備蓄庫に活用 ・災害時に活用できる広場 など

**問3 その他、旧小柴貯油施設の跡地利用についてご意見がありましたらお書き下さい。**

問2と同様に「自然の保全・水辺や緑の創出」に関するご意見を多くいただきました。このほか、「防災機能の確保」、「ドッグランの設置」や「農業をテーマにした活用」などに関するご意見をいただきました。

また、問3にご記入いただいた方は、240通のうち209通と全体の約9割にのぼり、跡地利用に対する関心の高さが伺えました。

**○回答総数（複数回答含む）**

298件

**○主なご意見**

**【自然の保全・水辺や緑の創出に関するもの（61件）】**

- ・現在残されている自然を保全して欲しい
- ・花や木を植え、さらに緑豊かにして欲しい など

**【防災機能に関するもの（20件）】**

- ・タンクを防災備蓄庫に活用 ・災害時に活用できる広場 など

**【ドッグランの設置に関するもの（20件）】**

**【農業をテーマにした活用に関するもの（17件）】**

- ・市民農園 ・地場農産品の市場 ・観光農園 ・農地 など

**【歴史の伝承に関するもの（13件）】**

- ・跡地の施設を残し小柴貯油施設の歴史を後世に伝える など

**【周辺への配慮に関するもの（13件）】**

- ・渋滞対策 ・公共交通機関の利用促進 ・周辺住環境への配慮 など

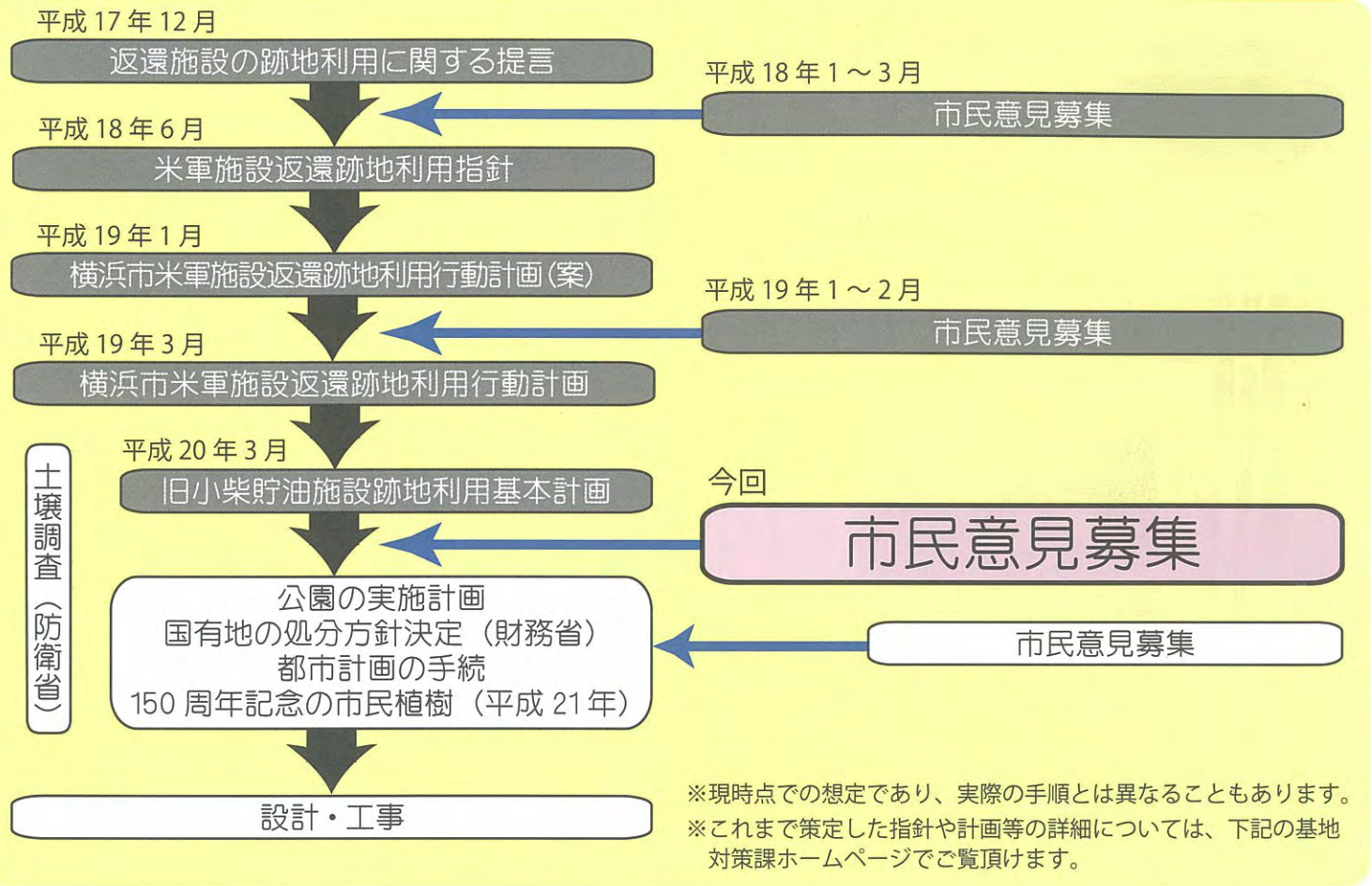
**【文化施設の設置に関するもの（12件）】**

- ・図書館 ・音楽ホール ・歴史資料館 など

**【アクセスの充実に関するもの（11件）】**

- ・駐車場の増設 ・駐輪場の設置 ・出入口の増設 など

## これまでの経緯と今後の進め方



## 旧小柴貯油施設(米軍施設跡地)の利用計画について

# 市民意見募集

平成 20 年 5 月 2 日(金) から 6 月 13 日(金) まで  
ご意見をお寄せください。



旧小柴貯油施設は、金沢区東部に位置する面積約 53 ヘクタールの米軍基地の跡地です。戦前、旧日本軍により艦船燃料の貯蔵基地として建設され、戦後は米軍が航空機燃料の備蓄基地として使用していましたが、平成 17 年 12 月に返還されました。

これまで横浜市では、市民の皆様のご意見を伺いながら、「米軍施設返還跡地利用指針(平成 18 年 6 月)」や「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画(平成 19 年 3 月)」を策定し、旧小柴貯油施設を都市公園(開港 150 周年の森)として整備することを掲げました。

今回、公園整備に向けて、跡地利用に関する基本計画をまとめました。今後、更なる具体化に向けた検討を進めていくに当たって、基本計画に対するご意見を募集します。

<切り取り線>

郵便はがき

2 3 1 8 7 9 0

0 1 7

横浜市中区港町 1-1

料金受取人払郵便

横浜港支店 承認

3119

差出有効期間 平成20年 6月30日まで

横浜市都市経営局基地対策課 行

- アンケートについては、下記の基地対策課ホームページにおいても募集しています。
  - いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。なお、個々のご意見に対する回答は致しませんので、あらかじめご了承下さい。
  - いただいたご意見を紹介させていただく場合は、情報の取り扱いには十分注意し、個人が特定される内容の記載は致しません。
- ◇発行・お問い合わせ  
横浜市返還施設跡地利用プロジェクト〔事務局〕  
横浜市 都市経営局 基地対策部 基地対策課  
TEL: 045-671-2168 FAX: 045-663-2318  
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1  
e-mail: ts-kichitaisaku@city.yokohama.jp  
URL: http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kichitaisaku/

■お住まい  
横浜市( )区・市外

■あなたの年齢  
10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上

■あなたの性別  
男 女



## 跡地利用の基本的な考え方

- ①市民参加による森づくりを進め、跡地全体を都市公園「開港150周年の森」として整備します。
- ②現在の緑を保全すると共に失われた緑を再生します。
- ③環境行動の支援やきっかけづくりに関する機能の導入を検討します。
- ④広場ゾーンは、芝生広場や水辺空間など、現在の環境を活かした多目的な空間づくりを進めます。
- ⑤太陽光などの自然エネルギーを積極的に導入します。

植樹等による緑の回復を図りながら、周辺の公園や緑地等との緑の連続性を強化します。また、森づくりのスタートとして、開港150周年を迎える平成21年に、市民参加による植樹が実施できるよう、関係機関との調整を進めていきます。早期の利用が出来るよう、整備が完了した箇所から順次オープンしていきます。

## 旧小柴貯油施設の現況

- 所在地  
横浜市金沢区柴町、長浜、幸浦二丁目、並木三丁目
- 面積  
約52.6ha（うち国有地97%、民有地2%、市有地1%）

- 現地の状況
  - ・西側から東側に向かって傾斜した丘陵地であり、最も高い地点と最も低い地点の標高差が約80mある起伏の多い地形となっています。
  - ・タンク類が地上・地下合わせて34基存在しており、そのうち地下タンクは29基あります。地下タンクは大きなもので、直径38m、深さ29mです。
  - ・敷地の約6割は斜面緑地（左図の黄緑部分）となっており、まとまった平坦部は東側の低地部と敷地中央に分布しています。
  - ・東側は、旧海岸線の名残であるがけ地となっています。
  - ・現地調査では、希少種等の生息や営巣は確認されていませんが、南側の水路にはホタルが生息しています。
  - ・長浜水路沿いには、約1kmにわたり、かつてパイプラインが敷設されていた幅約3mの跡地があります。

### アンケートにご協力ください。

※裏面記載のホームページでも回答を受け付けています。

問1～3の質問について、平成20年6月13日（金）までに、この葉書でご回答下さい。（当日消印有効）

問1 跡地利用の考え方について（該当するものに○）

①広場ゾーンは、芝生広場など多目的な空間として整備することを基本とします。

良い・どちらかと言えば良い・普通・どちらかと言えば悪い・悪い

②「緑の保全・再生空間」の一部では、保全すべき植物等が生育する部分を除いて、人々が散策できるようにします。

良い・どちらでも無い・人は入れず現在のままにすべき

問2 地球環境ゾーンでは「人々が環境に配慮した行動を起こすきっかけ」となるような機能の導入を検討していきますが、ゾーンの活用についてご提案がありましたらお書きください。

問3 その他、旧小柴貯油施設の跡地利用についてご意見がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

